

2023年10月15日発行

第 639 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子

特集
活動

当園では療育カード記録と同時の部署があつた。

- ②障害福祉サービス受給者証の更新(発行)のためのサービス等利用計画モニタリングの作成

③入所者が安心・快適な生活ができるよう

 - 1.車椅子・補装具関係の更新時の手続き行政機関と連携し支援する
 - 2.ご家族(成年後見人)への支援

④園の窓口として、外部からの研修担当(実習生・介護等体験・その他)ボランティア受け入れ・企画窓口

⑤入所者のデータ管理

⑥入所者の日中活動の協力・入所者作品の動画制作等になります。

中でも今回は口中活動協力について焦点を当ててご紹介いたします。

施設における活動時の悩みは様々あります。病棟の職員は日常生活支援と日中の療育活動(以下療育)を並行して行っていく為、療育を実践でき



紐を閉じて仕上げます



ボブの作戦



材料の収穫を手伝います

月に30本近くの活動を実施しているます。

これらの活動は療育サービス課内で記録を取りながら年度末には病棟と一緒に活動の様子等を共有し、内容等の相談、調整等を行つて行きたいと思ひます。

音楽活動はトーンチャイムやドラムなどの楽器に触れながら個々に合わせたりズム、楽曲、方法で音楽活動を展開しています。病棟職員が参加する場面もあります。

その他にも、昼食中にピアノの生演奏をしたり、文化祭時に大型プロジェクションマッピングのイベントを主催するなど

事が出来る為、利用者は期待感をもって参加してくれます。小グループ活動は2名程度でスヌーズレン室にてピアノ演奏と映像を合わせ、ソラツクリストした空間の中、穏やかな時間を過ごしていただきます。

る時間帯に制限があります。また、継続して個別の療育を実践していく事が難しい場合もあります。そういう病棟や園生の一々々に療育サービスの課が応えていきます。

活動時間は9時～17時の間で時間帯の制限はありません。現在は主に ①個別活動

②ドライブ取組の添乗 ③小
グループ活動 ④昼食時間の
生演奏などを行っています。他
にも病棟から要望がある時に
は柔軟に協力できる体制を整
えていきます。



EPA制度で来日した イクバルさん

テ11バの美容師さんはお願いしていた散髪。現在は当園職員が奮闘しています。中でも評判高いのは、E.P.Aで来日4年目のイクバルさん、インドネシア出身です。利用者の髪を器用に整えます。どこで勉強したんだろ?

バーバー「イクバル」

そして病棟の枠を超えた活動には次の利点があります。1つは病棟の都合に左右されない事。1つは時間帯に融通がきく事。最後に環境の変化です。普段と違う職員が迎えに来て、病棟から場所を移して活動する事は重要です。昨今人材不足が懸念される中で、固定の職員が全病棟の安定化を取り組み、療育の実施が出来る為新しい活動の一つとして今後、更なる発展をさせたいと考えています。





働く人シリーズ。今回は「看護科」で働く職員さんです。

職員数と勤務体系を教えてください。

現在、看護師、准看護師含め約80名が早番、日勤、遅番、夜勤の勤務体系で勤務しています。また、看護助手、病棟補助員が看護科の所属となります。

看護師は1日のような一日を過ごしますか?

それでは、日常の支援を具体的に説明します。

起床します。利用者さんの大切な1日のはじまりです。起床後、検温や清潔のケアを行います。ケアを行いながらひとりひとりの体調をチェックしていきます。その後、食事に備えて車椅子に移乗します。

食事は、栄養課さんからの手づくりでおいしい食事が提供されています。利用者さんにとっては、食事は楽しみの時間です。しかし、利用者にとっては食べ

食事のあとは健康チェック・入浴の介助をします。ひとりひとりに挨拶しながらも利用者の体調を常時観察しているお仕事です。

ひとりには、「那人らしく幸せに生きていこ」ため利用者の健康管理があります。重症児者の身体状況の変化は急がる健康状態をチェックしていく必要があります。夜勤からの申し送りが終わると必要な

処置を行います。また、定期的に歯科・耳鼻科受診も行っています。



看護師さんは常に利用者さんの隣にいるんですね。

うですね。午後の時間は、活動やリハビリを行います。日中は外を散歩したり、音楽や運動、マッサージなどを通じて過ごしてしまいます。季節の行事など

をはじめ、スヌーピーレンやアロマセラピー、各種取り組みを支援科職員とともに支援しています。また、利用者さんが快適な日常生活を送り様々なことに取り組んでいけるようリハビリ支援も積極的に行っています。

夜は就寝支援をします。安眠できるよう体温調節や体位変換を行っています。また、巡回を多数回行い、生命確認をしていきます。

重症心身障害児者施設の看護師さんの役割とはなんですか?

ひとりには、「那人らしく幸せに生きていこ」ため利用者の健康管理があります。重症児者の身体状況の変化は急速で重症化しやすく、健康状態の安定が日々の療育活動につながることから、夜勤からの申し送りが終わると必要な

健康状態のアセスメントは重要です。^{*注1}

また、観察の場面でも「こうむる何が違う」とか「何かおかしい」と感じる感覚はとても大切です。^{*}いのことが重症児者の健康状態を判断するうえで、重要な指標となる場合も多ないので、それが私たちの役割と言えます。

ほかにも何か注意点はありますか?^{*}大事なんですね。

ほかも何も注意点はありませんか?

重症児者は、体温調節に障害を持つことが多い、低体温や高体温になってしまいやすいです。それは視床下部の「フトロー

ル」ができないために、浴室や外気温に影響を受けやすい状態となっています。^{*注2}このため、生活する場での室温調節には、こまめな配慮が必要です。体温を計測するだけでなく、身体にも必ず触れ、体熱感の有無を確認していきます。職員の体感温度と、ベッドやクッションなどの上での生活をしている重症児者の体感温度は違うので注意が必要です。



それぞれ専門的な立場から支援を提供しますが、成長発達に伴いケアチームの構成員は変化していきます。乳幼児期は、医師、看護師、保育士などが支援し、学齢期になると教員が教員に替わって施設職員が加わります。看護師においては、長年にわたり発達支援に関わっているため、成長過程や健康状態も把握できていることから、コーディネーター的な役割が求められます。多職種連携が重要な重症児者の支援は継続的、かつ統一した支援が必要となるため、看護師が調整役になることが大切です。

なるほど、たくさんの職種の人の繋ぎ役にもなるんですね。



このように、日々の健康管理や発達支援において、看護師の役割は多岐に渡ります。

また、重症児者の医療的ケアの対応や、医療的ケアに関する福祉職員への助言、感染対策時の対応や家族対応など役割は多いため、常に学習し、知識の向上や人間性の向上に努める必要があると思います。

また、重症児者の支援する際、医療・保健・福祉・教育の連携が不可欠です。

*注1 事前に予測・評価することなど

*注2 熱はないのに体が熱い、体だけが熱く感じる、体に熱がこもる、といった状態を指します。



1病棟では、学齢期の利用者を対象に「たんぽぽくらぶ」と命名した支援活動を平成29年より週1回行っています。この名称には「たんぽぽのように土深く根をはり、力強く成長して花を咲かせ、最後には綿ぼうしとなって空高く飛んでいくように」という願いがこもっています。

活動内容は、赤、青、黄の「手作りのヘビ」や、「お餅」の教具を使った「感覚遊び」を中心に行っています。「個々の出来ること」を伸ばしながら、人との交流にも繋がるように努めた進行を心がけています。

それらを繰り返すことで、友達への関心も高まり、手を伸ばしたり、声をだして呼びかけたりの行動が見えてきました。

活動後には記録と振りかえりを行い、年3回の評価を行っています。リハビリテーション室の職員からも意見をもらい軌道を修正しながら目標にむかっています。



継続的に実施してきたことで、発達支援活動の基盤は出来てきました。

これからも利用者の可能性を最大限広げていけるように職員一丸となって支援していきたいと思っています。

1病棟ではグループに分かれて様々な活動や体験を行っています



「マッサージ」



「スヌーズレン」



「ボッチャ」



「おしゃれ体験」



「エアートランポリン」



「制作」



「太鼓たたき」



「車イスダンス」

3病棟「お楽しみ会」



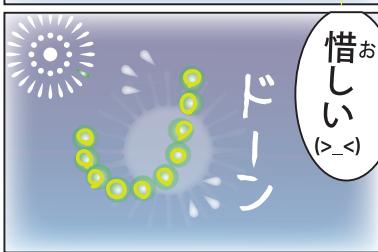
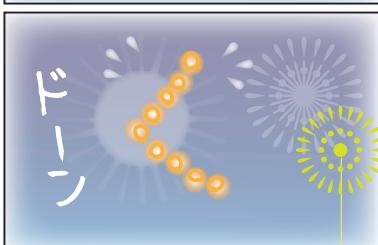
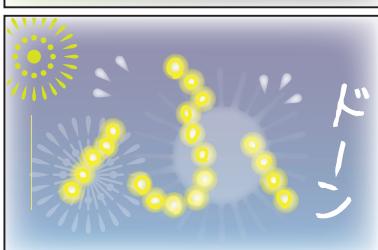
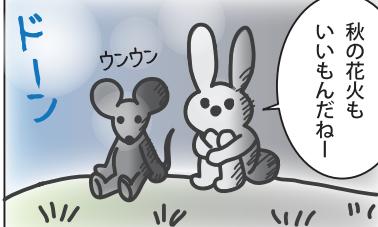
お楽しみ会で、「ピニャータ割り」というゲームを行ないました。

ピニャータはメキシコのお祝い事によく使われる日本のくす玉のようなもので、紙で作られた型枠の中にキャンディなどのお菓子を入れ、それを上から吊して棒で叩いて割るゲームです。

スイカの装飾をしたピニャータを職員が作って、利用者の皆で叩きました。

100日後に就職するうさぎ 第1話

作・早川里英



るため、「成人棟」を建設。増床して、その分だけ新たに重症身障児を収容しようと計画したが、厚生省が待ったをかけた。

秋津療育園は法的には医療法二類の指定を受けた病院である。基準通りに運営するには、常勤医師7名、看護士26人が必要である。現状は常勤医師は1名(非常勤4名)、看護師は17名(看護助手10名)であった。

(記事)草野熊吉理事長は、「1日も早く、我が子を救ってほしいと、全国から毎日のように障害児の入園申し込みが来ている。法改正と国の身障者救済制度が出来るまで待ってはいられない」と国の福祉行政に対する冷たさを批判、強行使用に踏み切った事情を説明しているが厚生省側はいせん「法を守らない運営をすれば、健康保険の医療費を支出しない」と強い態度を変えていない。

*1部抜粋して掲載しました また、現在と表現方法が異なる部分がありますが、原文のまま掲載しています

（株）サン・アドセンター様(文京区)・東京第三友の会 鈴木加寿子様 中島百合子様 林裕子様 平井妙子様 鈴木様(東京都)・大谷いずみ様(文京区)
東武百貨店労働組合様(豊島区)・武蔵野友の会 シモノ様(清瀬市)・鈴木倫子様・慶應義塾高等学校 此川しづか様 四方悦子様(港区)
飯田達雄様(狛江市)・牧田勢津子様(浦安市)・氏家康徳様(東村山市)・山本鐵子様(北区)・ひかり幼稚園 若草会様(蕨市)・望月海様(横浜市)
吉武舞様(海老名市)・藤吉達也様(大田区)・よつばの会様(東久留米市)・東京清涼飲料水工業組合様(文京区)・豊島岡同窓会様(足立区)
緒方謙郎様(大田区)・坂本潔様(秋田県) 職員一同心より御礼申し上げます 社会福祉法人 天童会

10月を迎ても、なかなか秋を感じることができない気温が続きましたね。それでも、お月様だけは秋らしい姿で地上を照らしてくれています。秋の夜長、皆さんはどう過ごされますか？さて、今号は、「活動」をテーマに制作しました。考えに考え方や、はつと思いついたものなど、様々な活動の内容を皆様にご理解頂ければ幸いです。（池田ゆ）

材料1人前

鮭	一切れ
ネギ	少量
玉ねぎ	適量
しめじ	適量
えのき	適量
塩昆布	少量
あさつき	少量
塩・こしょう	少々
味噌	大さじ1
砂糖	大さじ3/4
酒	小さじ1と

- ① アルミホイルにスライスした玉ねぎを敷き詰める
- ② 鮭は昆布・こしょうを付属り、アルミホイルのせる
- ③ Aを昆布・こしょうを塗り、その上にネギ・しめじ・えのき・昆布・あさつきをのせる
- ④ アルミホイルをしっかりと閉じる
- ⑤ フライパンに水100ccを入木、その上に閉じたアルミホイルをのせ、蓋をして弱火で10分程度蒸し焼きにする

ポイント

フライパンに網を置くと熱伝導が悪くなり、蒸すのに時間がかかります。水分が入らないように、しっかりとアルミホイルを閉じて、直置きする方が時短になります。また、具材の上にチーズをのせて味噌チーズ味も楽しんでみてください。美味しいですよ。

古い写真や文献の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。

昭和44(1969)年4月21日 読売新聞より

看護士不足が・新病棟強行使用へ

療育園には103人が収容されているが、うち21人は児童福祉法に決められた救済年齢の18歳を超えた人達。成人した男女がベッドを並べているのは問題があるので、療育園では昨年5月、成人棟(55床)をつくった。

ところが看護士不足、この事情を知った厚生省からクレームがついた。療育園では「障害児施設にマッチした制度を確立してほしい。大人の身障者を扱う男性の看護人配置を認めて」と厚生省に昨年来訴え続けてきた。しかし回答は「急に制度を改めるわけにはいかない。男性の看護人は精神、老人、ライ病だけにしか認められていない」と冷たかった。300人を超える全国の身障者が療育園のベッドがあくを待っているので、"違法"を承知で成人棟を使うことにした。

厚生省は「看護士数をはみ出した障害者の入院生活費は健康保険扱いからははずす。」と強い警告をした。

きびしい法の壁に対し、草野理事長は「国医療法をタテに増床を認めないのもわかるが、全国には入園を待ちわびている気の毒な人がたくさんおり、なんとかこの人たちを救ってあげたいという気持ちから”成人棟”を作った。看護師も一人でも多くをと手を尽くしているが、苦労の多い仕事だけになりてのないのが実情だ。我々は重症心身者療育の実務からみて、看護師が少なくとも保母などがあればある程度十分だとがんがえている。この点も考慮して法を改正するとか、運用を変えるなどして、ベッドを生かせるような処置を国にも考えてもらいたい」と訴えている。

